学校番号	3020B

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　標準国語総合」　（第一学習社）						
副教材等	「新修古典文法」（京都書房）「ことばを広げる新漢字ノート」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毎回の授業において何を学ぶかを明確にして積極的に授業に臨むとともに、知識の習得のみならず、準備・提出物・予習・復習など基礎的な学習習慣の確立をめざすこと。
・現代文では、内容を正確に読解することにに努めること。
・古典では、文法事項を理解を進めるともに古典の世界に慣れ親しもうとすること。

2　学習の到達目標

・場面に応じた語彙、語句の使用ができる
・文の構造を理解し、内容・登場人物の心情を把握することができる。
・適切な表現を用いて、会話による意志、思考の伝達を図ろうとする。
・言語に対する感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を用いて、様々な場面でそれを活用することができる。
・伝統的な言語文化に関する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に、的確に聞きとったり、話あったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を目的に応じて内容を抽象化して読みとるなどして自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 発言の内容 記述の確認（ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等における態度、声の大小・抑揚等）	記述の確認及び分析 （ノート、ワークシート、原稿用紙等） 定期考査	記述の確認及び分析（ノート、ワークシート） 発言の内容 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	・随想 古文入門	「スイッチを OFF にすることから始める」 ・歴史的仮名遣い	○			◎	○ ◎	ａ：文章に書かれている視点がどのようなものか考えようとしている。 ｄ:文の主題をつかむために、論の展開に注意して読み進めている。 ｅ：接続詞の違いによって展開が変化することを理解できている。 ｅ：仮名遣いの違いに触れ、古典の世界に触れること。	ａ：行動の観察及び、記述の観察 ｄ、ｅ:記述の点検と確認、定期考査
前期	小説（一）	【近代以降】 教材：「羅生門」	◎	○		◎		ａ：人物の心情を味わおうとしている。 ｂ：作品中のどの部分に着目して読んだのかということを説明できている。 ｄ：情景・心情等の描写がどのように描かれているかについて、場面を意識しながら読んでいる。	ａ：行動の観察及び、記述の観察、発言の内容 ｂ：発問に対しどのように答えるのが適切かを考え、話ができている。 ｄ：発言の内容、定期考査

前期	古文入門	【古典】 教材：「古文の学習」 教材：「児のそら寝」	○			◎	◎	ａ：現代語と古語の発音の違いを味わい、古典の世界に慣れ親しめている。 ｄ：登場人物の心情を、文の展開から把握しようとしている。 ｅ：五十音図、伊呂波歌が習得できている。	ａ：行動の観察 ｄ：行動の観察、発言の内容、記述の確認 ｅ：小テスト及び定期考査
前期	評論（一	【近代以降】 教材：「水の東西」				◎	◎	ｄ：文の論の構造を意識しながら読解出来ている。 ｅ：評論文の論の形態を理解できている。	ｄ：記述の確認、定期考査 ｅ：記述の点検、定期考査
前期	品詞について学ぶ	【古典】 古典文法における品詞の特徴を学ぶ		◎			◎	ｂ：自らが理解したことを、他人に分かるように話すことができている。 ｅ：日本語文法における品詞の分類がどのような構造になっているかを理解できている。	ｂ：行動観察 ｅ：定期考査、記述の点検
前期	漢文入門	教材：「漢文の学習」 「訓読に親しむ（一）」	◎				◎	ａ：漢文が、古典の形成に影響を与えたことに気づこうとしている。 ｅ：漢文を読む際に必要な訓読方法を理解できている	ａ：行動の観察、記述の確認 ｅ：定期考査、小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e：知識理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。